

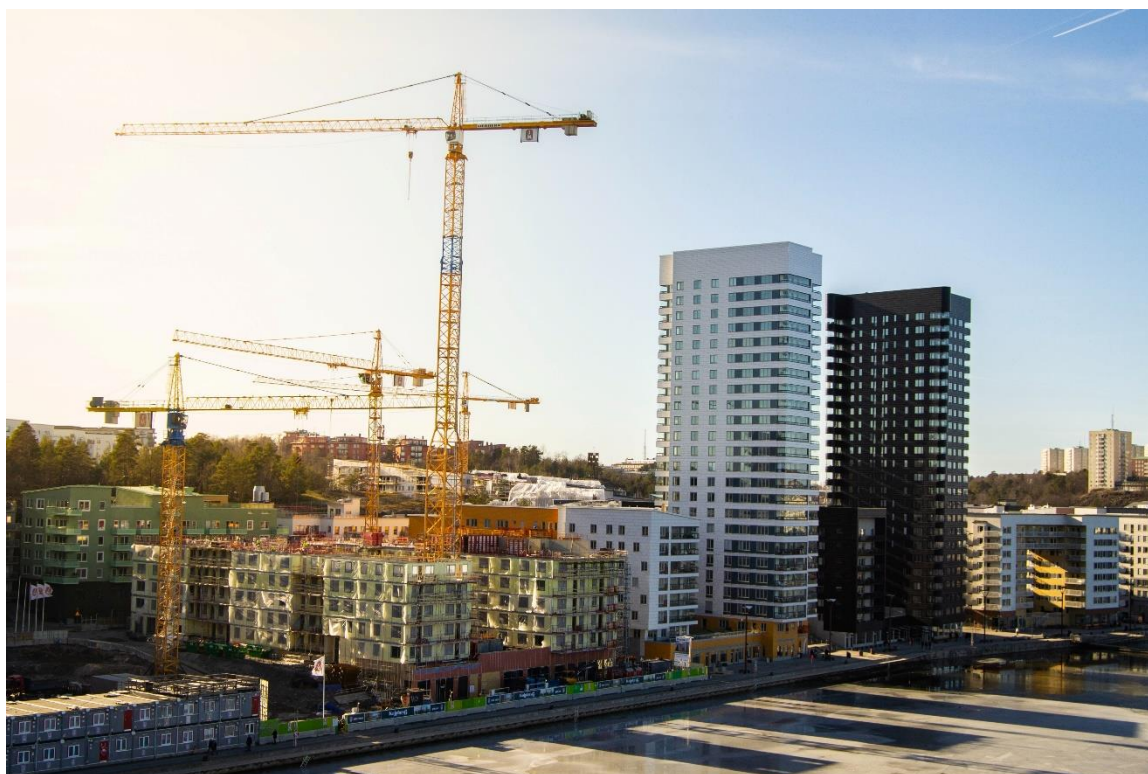
大湾区情報 No. 11

グレーターベイエリア情報 発行：2021年5月11日



「大湾区情報」では、日系企業の皆様に有用と考えられる最新情報をいくつかピックアップしお届けします。

【広東省国民経済社会発展第14次5カ年計画概要～大湾区開発のポイント】



4月25日、広東省人民政府により「広東省国民経済と社会発展第14次5カ年計画及び2035年までの長期目標概要」（以下「計画概要」）が発表されました。14次5カ年計画（通称「十四五」）では、大湾区建設が初めて国家戦略として盛り込まれました。今回の計画概要では「大湾区」及び「深圳における中国の特色ある社会主義先行モデル地区」という二つのエリアを「双区」と称し、よ

り重要な最優先政策として大きく打ち出しており、計画概要文中で「大湾区」に直接言及した箇所は 100 を超え、科学技術、産業、インフラ、開放性などの重要な分野を網羅しています。

計画概要によると、「双区」は、科学技術イノベーションの効果的な促進、現代産業システムの構築、経済サイクルの効率的な循環、より高いレベルの改革開放の実現、中国内外の「双循環」サイクル（内需外需の相互促進）への深い関わりという 5 つの分野で主導的な役割を果たしていくことが明記されています。以下その 5 つの分野に関する概要となります。

1. 科学技術イノベーションの効果的な促進

「計画概要」では、大湾区国際科学技術イノベーションセンター建設を先駆けに、世界的な影響力を持つ科学技術、産業イノベーションの重要なポジションを構築することを提案しています。

また、大湾区では総合的な国家科学センターの建設を主な牽引役とし、主要な科学技術インフラ建設を全面的に強化していきます。深圳・香港科技イノベーション協力区の深圳園区、横琴広東・マカオ緊密協力区、広州イノベーション協力区の 3 つの主要イノベーション協力区の建設、国家印刷・フレキシブルディスプレイイノベーションセンター、国家先進ポリマー材料産業イノベーションセンター、国家高性能医療機械イノベーションセンターなどの多数の国家レベル事業によるイノベーションセンターの建設について引き続き推進していくことが提案されています。

2. 現代産業システムの構築

産業のハイエンド化を積極的に推進し、グローバルな産業チェーンに深く溶け込み、産業基盤のアップグレードと産業チェーンの近代化を図ることにより、先進的製造業と現代サービス業の緊密な統合発展を加速させ、伝統的な広東省の製造業から広東スマート製造業への転換を推進することにより、国際競争力を備え

た現代産業システムを構築していきます。珠江デルタの中核地域を、世界をリードする先進的な製造開発拠点として再構築し、ハイレベルでかつ高精度、最先端の製造業の発展に向け大々的に推進し、東莞市における「製造業供給側構造改革イノベーション試験区」建設を支援します。

広東省は香港・マカオのサービス業との協力を強化します。香港・マカオの現代サービス業の優位性を生かし、海運物流、金融サービス、文化・クリエイティブ、会議・展示会、会計・法律・コンサルティングサービスなどの専門サービスに重点を置き、差別化による発展、長所の相乗効果、コラボレーションパッケージによる現代サービス業システムを構築していきます。

3. 経済サイクルの効率的な循環

「計画概要」では、広州市や深圳市など、インフラ条件が良く、消費の潜在力が高く、国際化が比較的進んでいる都市において国際消費中心都市を創設することを支援し、国際的水準と世界的影響力を持つ消費中心都市群を育成し、国際的ブランドの集積を促進することを提案しています。国内外につながるという大湾区の利点を十分に活用し、重点分野や新興産業の基準策定、改善加速、日用品や生活サービス製品等の主要基準の制改定、国際共通規格への準拠の促進、消費財の品質基準向上、消費財のハイレベル化、差別化への発展を導きます。

4. より高いレベルの改革開放の実現

「計画概要」では、広東省自由貿易パイロット区（GFTZ）の拡張に対する国のサポートを積極的に勝ち取ると言及されています。広東省自由貿易パイロット区の模範、リーダーとしての役割を十分に発揮し、規則、規制、管理、基準などの制度的開放を模索し、大湾区の融和的発展のためハイレベルの対外開放ゲートウェイハブを構築します。また、金融の自由化およびオープンイノベーションのための実証窓口としての役割を十分に発揮し、資本項目の収入決済の円滑化のためのパイロット・スキームをさらに進め、国境を越えた金融サービスイノベ

ーションを推進します。なお、香港とマカオのサービス産業への開放をさらに拡大し、香港・マカオで開業資格を持つ建築・会計などの専門家が登録のみで、直接開業できるように促進します。大湾区、深圳先行モデル地区、自由貿易パイロット区の政策上の長所を最大限に活用し、先進的製造業や現代サービス業の主要分野の対外開放をさらに拡大する。

5. 中国内外の「双循環」サイクル（内需外需の相互促進）への深いかかわり

国内外の双循環を促進するという観点から、計画概要では、大湾区をメインプラットフォームとし、国内外双方のマーケットの資源を十分に活用し、内需と外需、輸出入、貨物貿易とサービス貿易、貿易と産業の協調的発展を積極的に推進し、投資、貿易の円滑化および自由化の水準を高めることを提案しています。

【広東省の銀行業界、第14次5カ年計画期間中に大湾区への金融支援を強化】



4月27日、広東省の銀行業界2021年第1四半期定例記者会見が広州市で行われました。会見上の情報によると、2021年第1四半期、域内の銀行業界の運営は安定した良い状況を保っており、総資産は、前年同期比10.82%増の19兆7,800億人民元、各種貸出残高の合計は前年同期比17.33%増の13兆1,200億人民元となっています。

金融イノベーション政策の段階的な実施に伴い、銀行は大湾区がもたらす良好な発展の機会について楽観視していると報告されています。中国工商银行広東支店（ICBC 広東）、広発銀行、広州銀行、上海浦東発展銀行広州支店など多くの銀行が、会見において大湾区建設への金融支援を強化すると述べました。

国際金融ハブの地位が具体化

会見での情報によると、今年の第1四半期、広東省の銀行運営は順調で、主要なリスク指標は妥当な範囲内に収まっています。管轄区域内の不良債権残高は1,311億700万人民元で、前年同期比0.63%の減少となりました。不良債権比率は0.18%減少し、全国平均を大幅に下回りました。リスク負担能力は引き続き強化されており、域内の銀行業貸倒引当金カバー率は209.07%で、年初と比較し0.85%上昇しました。第1四半期、広東省の銀行業界は、先進的金融を以って大湾区建設を支援することに注力しており、国際金融ハブとしての大湾区の地位が具体化してきています。現在、香港・マカオ系銀行機関は中国本土においても有数の規模を誇っており、香港・マカオ系の銀行14行が深圳を除く大湾区において80以上の商業銀行および3つの駐在員事務所を開設しています。また、様々なタイプの金融イノベーションが徐々に促進されています。報道によると、広東省銀行保険監督管理局（以下「広東銀保監局」）は、大湾区における「クロスボーダー・ウェルスマネジメント・コネクト（跨境理財通）」のパイロットスキームを積極的に推進しており、中国銀行保険監督管理委員会および中国人民銀行と協力の上実施細則制定を策定し、可能な限り早期に実施することを目指しているとのこと。

省都としての地方監督責任を強化するため、広東銀保監局は「広州地区銀行業保険業監督管理委員会の設立に関する通知」を発表し、広州地区銀行業保険業監督管理委員会を設立して「広州監督モデル地区」の立ち上げを主導することになりました。「広州地区銀行業保険業監督管理委員会」は、広東銀保監局の主な責任者が主任を務めます。「広州監督モデル地区」は「モデル」に重点を置き、より創造的で主導的な活動を行い、広州地区の銀行・保険機関のリスク監督を強化し、各機関が実体経済への貢献と改革・革新への努力を高めるよう指導し、広州地区のビジネス発展のための統括指導を強化することにより、より多くの「広州初」を生み出し、中国国内で模範的かつ主導的な役割を果たす注目のブランドをより多く創出していきます。

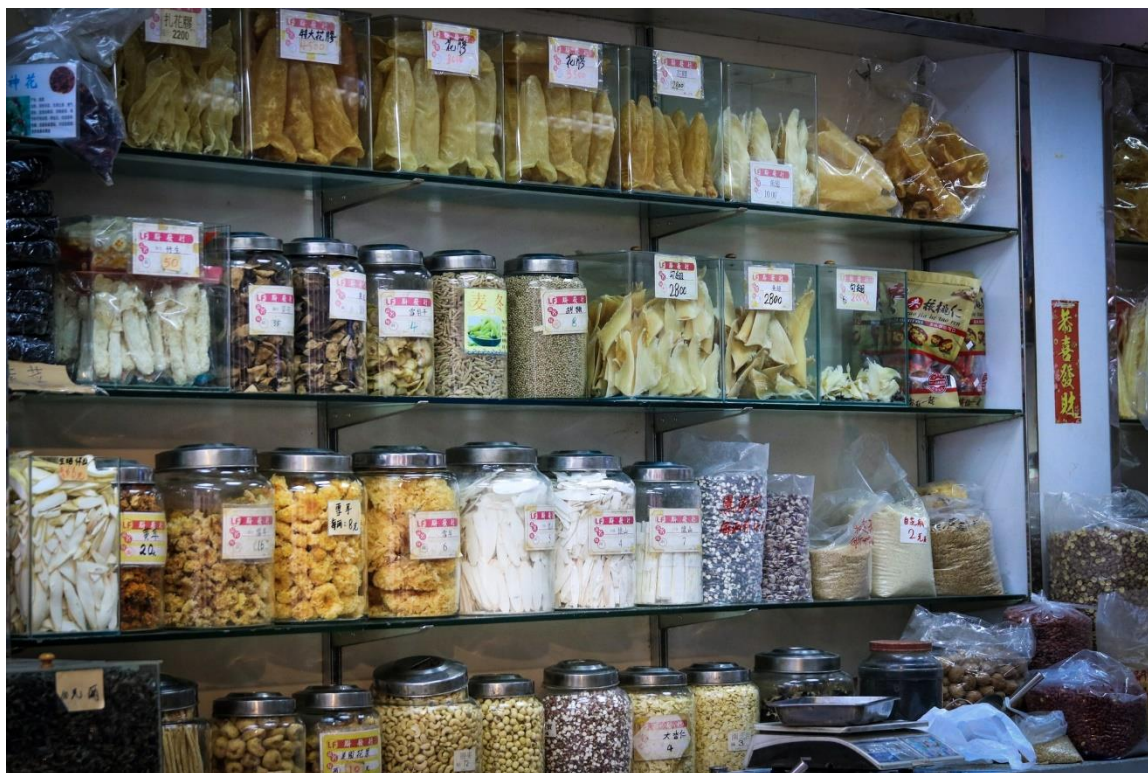
郊外の施設建設支援がキーワード

第14次5カ年計画期間において、グリーン開発と農村の活性化に対する金融支援は、各銀行にとって重要事項となっています。

ICBC 広東の蘇国慶副頭取は、同行発展計画は第14次5カ年計画および経済社会発展の課題に完全に合致しており、大湾区の戦略的展開および「一核一帯一区」の地域発展計画と密接に連携し、新しい発展スタイルに融合していくと述べました。また、今後3年間でICBC 広東は3兆8,000億人民元の融資を割り当てる予定であり、当行の製造業向け融資の年間増加率は17%を下回らず、銀行全行における製造業向け融資に占める先進的製造業向け融資は増加し、45%を超える見込みです。金融包摂（すべての人が金融サービスを利用できるようにすること）の増加率は同行の融資の増加率を下回らない見込みで、また農業関連分野の融資残高は1,000億人民元を超え、グリーンファイナンスの融資残高は1,300億人民元に達する見込みで、「炭素排出ピークアウト」「カーボンニュートラル」の実現に向けて、金融の力で美しい山河を守っていきます。

広発銀行、上海浦東発展銀行広州支店も、インフラ、テクノロジー、イノベーション、環境保護などの方面で大湾区での建設を支援していく予定と会見で述べました。

【第3回大湾区中医薬の伝統継承およびイノベーションに関する会議】にて21
の中医薬協力プロジェクト決定】



大湾区の建設においてヘルスケアはかねてより避けて通れないテーマです。「広東・香港・マカオ大湾区計画綱要」では、「ヘルスケアベイエリアづくり」という計画目標がかかげられ、中医薬に関する4つの章が設けられています。今回正式に発表された「広東省国民経済と社会発展第14次5カ年計画及び2035年までの長期目標概要」にも、広東省のヘルスケア戦略の実施と衛生保健の質的発展の促進に関する章が設けられており、中医薬のイノベーション促進についても言及されています。

2020年10月、国家中医薬管理局は大湾区建設担当事務局および広東省人民政府とともに、「大湾区中医薬ハブ建設計画(2020～2025年)」(以下「建設計画」)を発表し、広東・香港・マカオ地区の中医薬業界が共に議論、貢献、共有するための制度的仕組み構築を提案し、中医薬ハブ建設の新しいスタイルの形成を加速させ、これにより、大湾区での中医薬ハブ建設が正式にスタートしました。

た。

「建設計画」によると、2025年までに大湾区中医薬ハブは、医療、イノベーション、人材、産業、国際化の5つのハブを構築し、中医薬専門サービスのリーダー、中医薬教育改革のパイオニア、中医薬イノベーションモデル、中医薬専門事業、ハイクオリティな産業振興の推進者となります。

これまで広東省と香港、マカオの三地区は、健康分野で長い協力関係を築き上げてきました。2018年初に恵州市で開催された第一回「大湾区衛生保健協力会議」では、すでに「大湾区衛生保健協力枠組協定」が締結され、人材育成、雇用、医療サービスと養老介護サービスの結合、緊急時対応などの分野での協力が決定されました。

4月28日に行われた第三回「大湾区中医薬の伝統継承およびイノベーションに関する会議」では「大湾区中医薬工程技術研究院」の共同建設、「広東・マカオ中医薬製剤開発プロジェクト」、「広東・香港・マカオ惠州トランスレーショナル医学リサーチセンター」の建設などの重要プロジェクトの協力に関する協議書、また、広東省、香港、マカオの各政府機関、企業、機関によって中医薬の伝統継承とイノベーションのための21の協力プロジェクトが締結されました。その中には、中医薬人材の育成、基礎研究、臨床技術、トランスレーショナルリサーチ、中医薬規格の研究開発などの多くの分野が含まれています。

大湾区のヘルスケア産業における協力によって障壁を取り払い改革とイノベーションを進めることにより、情報、人材、資金、その他の要素がスムーズにまわり、大湾区において規格化された、成熟した、国際マーケットに適合したヘルスケア産業システムの形成を促進していきます。

【参考資料】

- [「広東省国民経済と社会発展第 14 次 5 カ年計画及び 2035 年までの長期目標概要」発行に関する通知（粵府（2021）28 号：「計画概要」へのリンク付）](#)
- [広東省「第 14 次 5 カ年計画」概要、100 回以上「大湾区」について言及](#)
- [第 14 次 5 カ年計画期間における広東省の大湾区建設推進のポイントとは？](#)
- [広東省の銀行業界、第 14 次 5 カ年計画期間における大湾区での金融支援を強化](#)
- [「第 3 回大湾区中医薬の伝統継承およびイノベーションに関する会議」にて 21 の中医薬協力プロジェクト決定](#)